

# Game Report

開催場所：鹿屋体育大学

試合区分：第 26 回全九州大学バスケットボールリーグ戦

試合期日：2019 年 10 月 20 日(日)

試合時間：10：40～

CC：和田 敏文

U1：豆塚 宜男

U2：牧野 景介

鹿屋体育大学	○ 61	20	—1st—	14	● 57	福岡大学
		15	—2nd—	16		
		12	—3rd—	14		
		14	—4th—	13		

## 第1クォーター

福岡大#41野口のレイアップで試合がスタート。序盤、鹿体大は速い展開からジャンプシュートと3Pシュートを高確率で沈めていく。対する福岡大はなかなかシュートを決めることができず、流れを掴み切れない。中盤以降、福岡大#41野口のポストプレイを中心に攻め得点を重ねていくが、鹿体大#24田村の3Pシュートが立て続けに決まり点差を縮めることができない。20-14の鹿体大リードで第1クォーターを終える。

## 第2クォーター

序盤、鹿体大は#3大串のポストプレイを中心に攻める。追いつきたい福岡大は#99島崎が積極的にシュートを狙って反撃する。流れを引き寄せたい福岡大は、残り3:44タイムアウトを請求する。その後、福岡大は#16川口がゴール下で存在感を見せ得点を重ねていく。対する鹿体大もフリースローを確実に決めていき、お互い譲らぬまま35-30の鹿体大リードで第2クォーターを終える。

## 第3クォーター

前半同様、福岡大は#41野口のポストプレイを中心に攻める。対する鹿体大も速いパス回しでノーマークを作って確実に決めていき、点を取り合う展開が続く。中盤以降もお互い積極的に1対1を仕掛け、一進一退の攻防が続く中、福岡大は、ドライブから#16川口への合わせのシュート、#32片山や#99島崎の3Pシュートで得点を重ねる。しかし、鹿体大は#3大串の献身的なリバウンドや#13白石の華麗なフックシュートで得点を重ねていき、流れを渡さない。47-44と鹿体大がリードして第3クォーターを終える。

## 第4クォーター

序盤、鹿体大は#3大串のゴール下のシュートが立て続けに決まり、点差を広げる。このまま勢いに乗りたい鹿体大は、さらにディフェンスをゾーンディフェンスに変えターンオーバーを誘い、流れをつかむ。この流れを変えたい福岡大は中盤以降、#16川口が攻守にわたって献身的なプレイで活躍を見せ、点差を縮めていく。試合終盤、福岡大は#6大関の3Pシュートで2点差まで迫るも一步届かず、61-57で鹿体大が2巡目最初の試合を勝利で飾った。